記者発表資料

令和　６年　６月１１日
国　土　交　通　省
仙台河川国道事務所

国道４号 大衡道路（おおひらどうろ）

令和８年度までに４車線で部分開通します

～河原（かわはら）交差点以北が４車線で通行可能に～

現在、整備を進めている大衡道路事業（全体延長 4.5km）のうち、「大衡村大衡字萱刈場（おおひらむらおおひらかやかりば）（河原（かわはら）交差点）～大衡村駒場字蕨崎（おおひらむらこまばわらびざき）」の延長 2km について４車線化の拡幅工事を進めておりましたが、工事の進捗状況を踏まえた結果、令和 8 年度までに部分開通する見通しとなりましたのでお知らせします。

■大衡道路の開通により期待される効果

○地域産業の支援

○冬期交通障害の減少

○交通混雑の緩和

・開通見通し公表区間については、現在、現道側の改良工事を行っておりますが、工事進捗に合わせ交通を切り替えて進めて参ります。
・交通切り替え等に伴い、皆様にはご不便をおかけ致しますが、現地の交通誘導に従い、安全通行にご協力願います。
・早期完成に向けて工事を推進して参りますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

＜発表記者会＞　宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

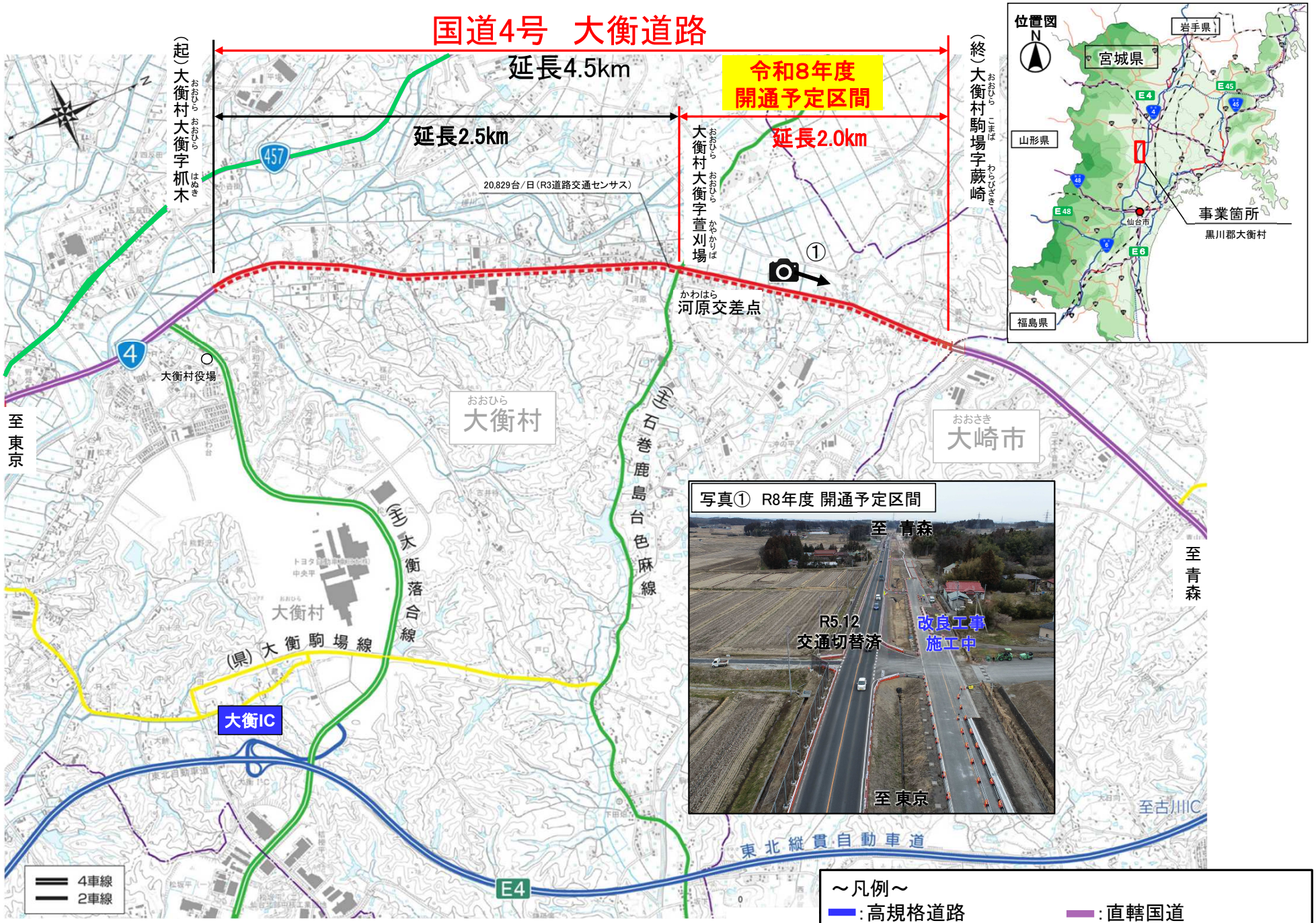
【お問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所　TEL022-248-4131

副　所　長　鳴海（なるみ）　芳紀（よしのり）　（内線 205）

工務第二課長　若生（わこう）　孝喜（こうき）　（内線 411）

位　置　図

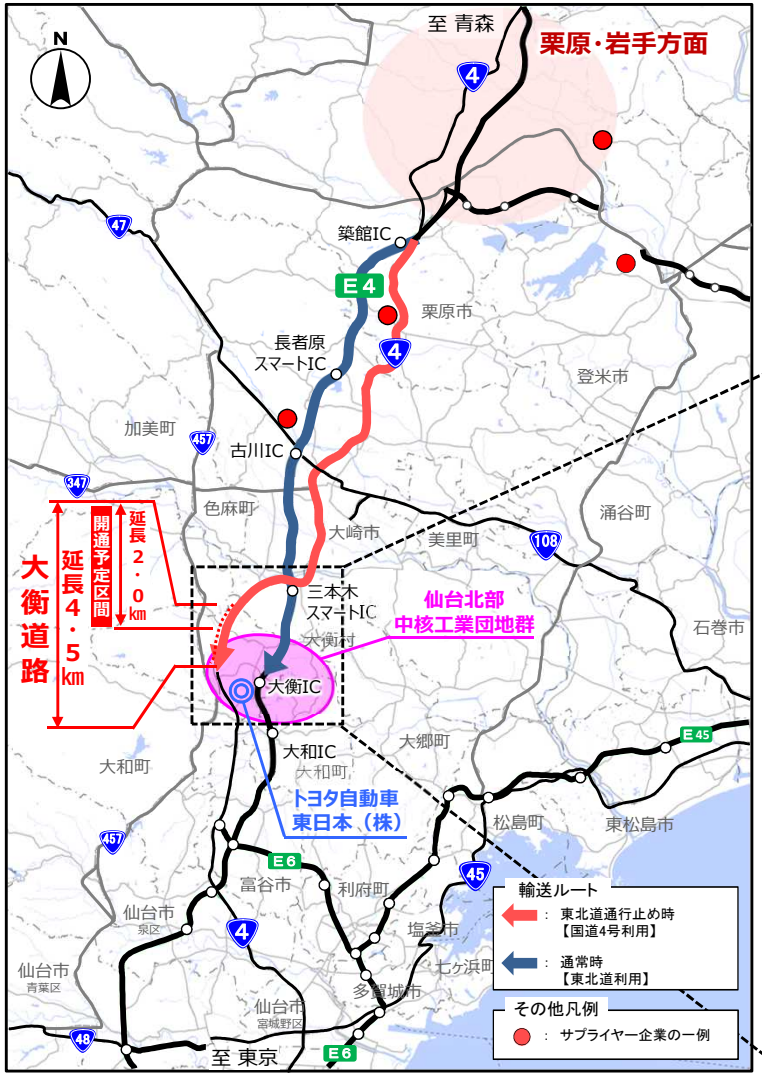

国道4号　大衡道路
延長4.5km
延長2.5km
令和8年度
開通予定区間
延長2.0km
(起)大衡村大衡字柏木
(終)大衡村駒場字蕨崎
大衡村大衡字萱刈場
20,829台/日（R3道路交通センサス）
河原交差点
大衡村役場
大衡村
大崎市
至東京
至青森
(主)石巻鹿島台色麻線
(主)大衡落合線
(県)大衡駒場線
大衡IC
東北自動車道
E4
至古川IC
4車線
2車線
写真①　R8年度 開通予定区間
至 青森
R5.12
交通切替済
改良工事
施工中
至 東京
位置図
岩手県
宮城県
山形県
福島県
仙台市
事業箇所
黒川郡大衡村
～凡例～
:高規格道路
:直轄国道（事業中）
:一般県道
:直轄国道
:補助国道・主要地方道

地域産業の支援

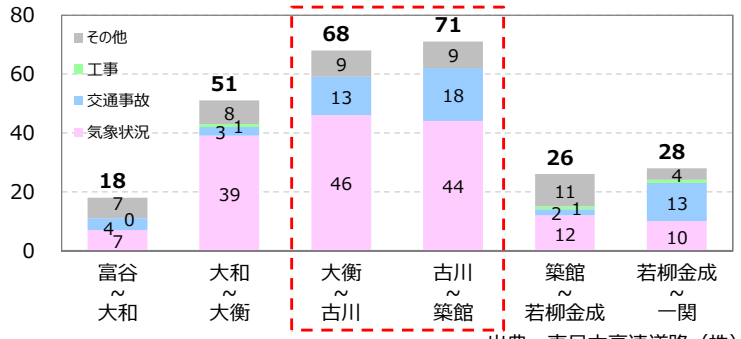
○トヨタ自動車東日本(株)宮城大衡工場では、県内サプライヤー企業※の約8割が大衡村以北に立地。
○自動車部品の輸送には東北道を利用しているが、通行止め時には国道4号を利用しており、所要時間は通常時の約1.5倍。
○また、令和9年には、第二仙台北部中核工業団地に世界有数の半導体企業による新工場が稼働予定であり、今後更に国道４号の重要性が増す見込み。
○大衡道路の整備により、東北道通行止め時における時間信頼性や地域産業を支援する路線としての機能を向上。

※メーカーに対して商品・製品の製造に必要な原材料や資材、部品などを供給する企業

▼自動車部品の輸送ルート

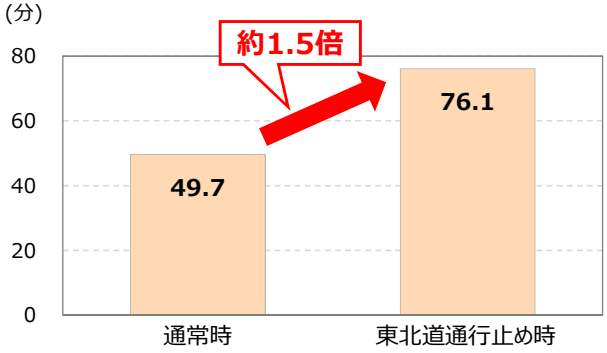


▼東北道通行止め回数（H30～R4年度）



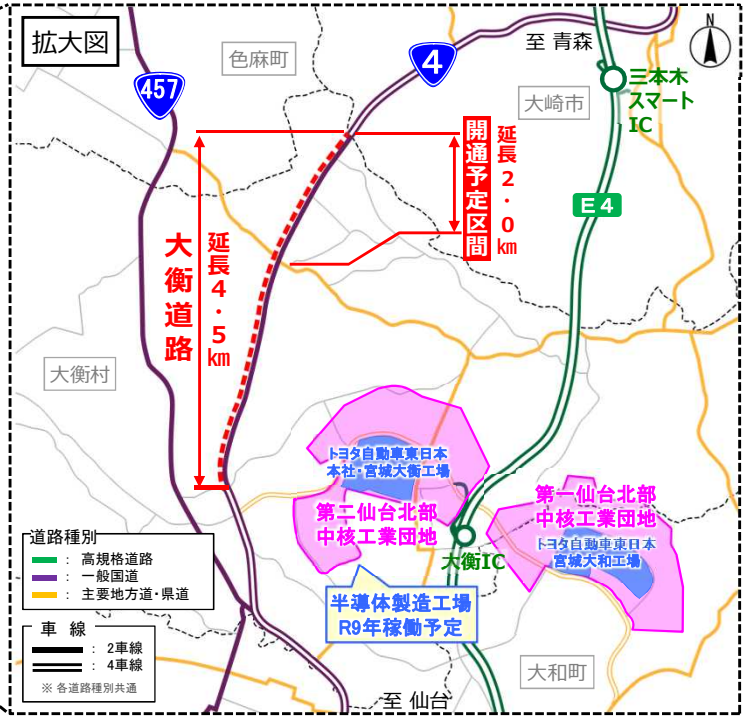
出典：東日本高速道路（株）

▼国道４号利用の所要時間



出典：ETC2.0プローブデータ　国道4号（上り）
［通行止め時］R3.1.29-30（16時～翌16時）
［通常時］　R3.1.22-23（16時～翌16時）
※R3.1.29-30 東北道［大衡IC-築館IC］通行止め

拡大図



【自動車関連企業の声】

○サプライヤー企業は宮城県内をはじめ、岩手県内にも多く立地している。
○過去に東北道通行止めによる部品供給の遅延に伴い、**組み立てラインの稼働停止が発生**した。
○整備により、東北道が通行止めになった際の**代替路としての機能強化**に期待している。

【宮城県内サプライヤー企業の声】

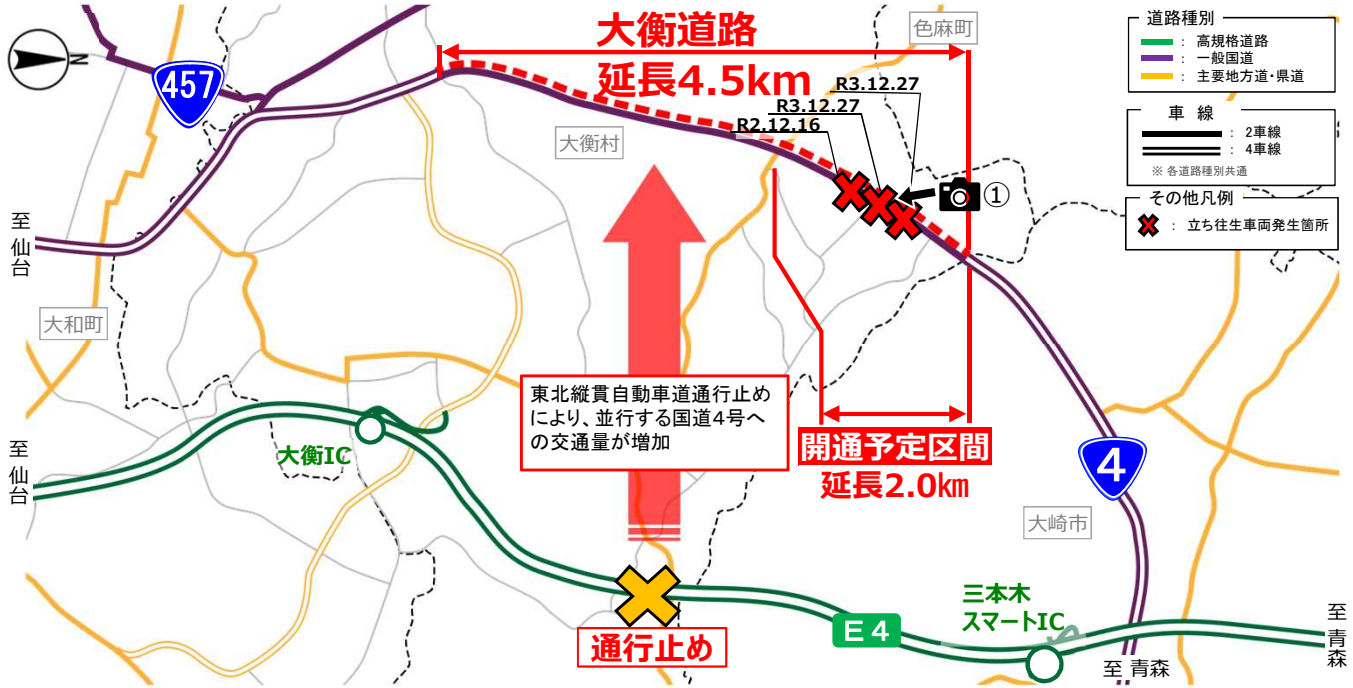
○栗原市から輸送を行っている。東北道通行止め時は国道４号を利用するが、輸送時間が**通常より120分程度増加**する。
○整備により国道4号が機能強化し、東北道通行止め時など、**国道4号が止まらないことに期待**。

出典：R5.6　ヒアリング結果

冬期交通障害の緩和

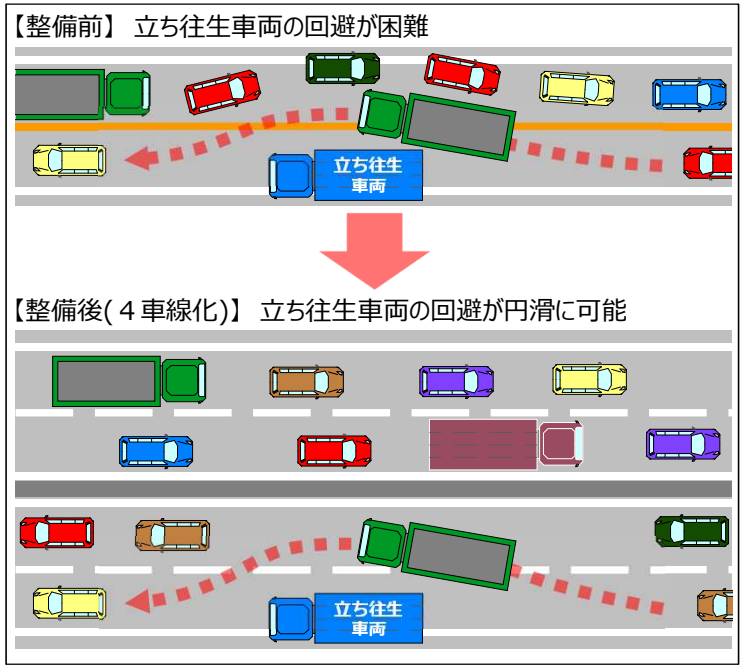
○東北道では冬期の重大事故防止のため、異常気象が見込まれる際は事前に通行止めを行い、集中的に除雪を行う「予防的通行止め」を実施。
○その際、並行する国道４号に交通が集中し、立ち往生車両などの冬期交通障害が発生している状況。
○大衡道路の整備による4車線化により、冬期交通障害発生時においても円滑な交通を確保。

▼大衡道路区間と並行する東北道の通行止め時における交通変化

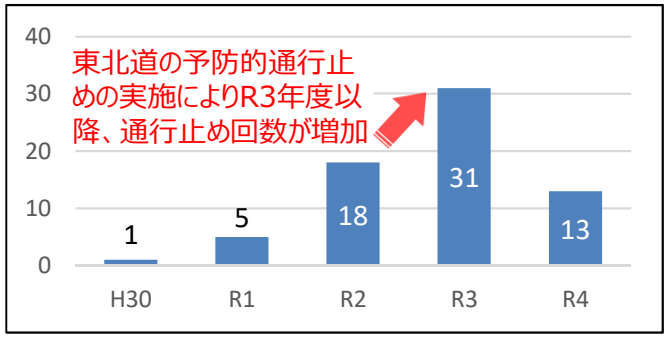


▼大衡道路区間における立ち往生車両（R2.12.16）

▼立ち往生車両発生時の交通状況



▼大衡道路区間と並行する東北道の通行止め回数



出典：東日本高速道路（株）

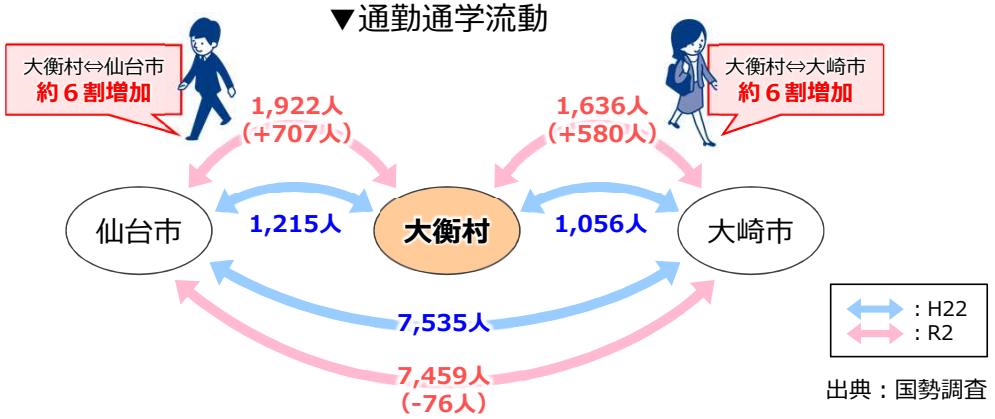
▼東北道における多重事故(R3.1.19)

出典：東日本高速道路（株）

交通混雑の緩和

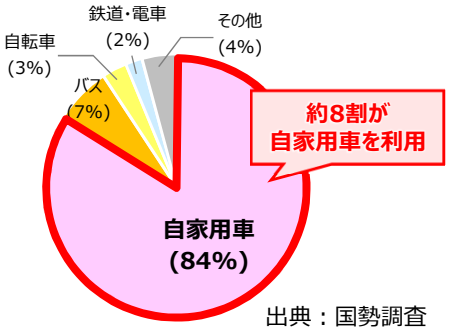
○大衡村関連の通勤通学流動は増加傾向であり、その８割以上が自家用車を利用。
○混雑度は2.06と前後区間と比べ非常に高い傾向。
○当該区間は混雑度が高く、前後の4車線区間と比較し、２車線区間は朝夕ピーク時に速度低下が発生。
○大衡道路の整備により、交通が円滑化することで、通勤・通学等の日常生活における利便性を向上。

▼通勤通学流動



出典：国勢調査

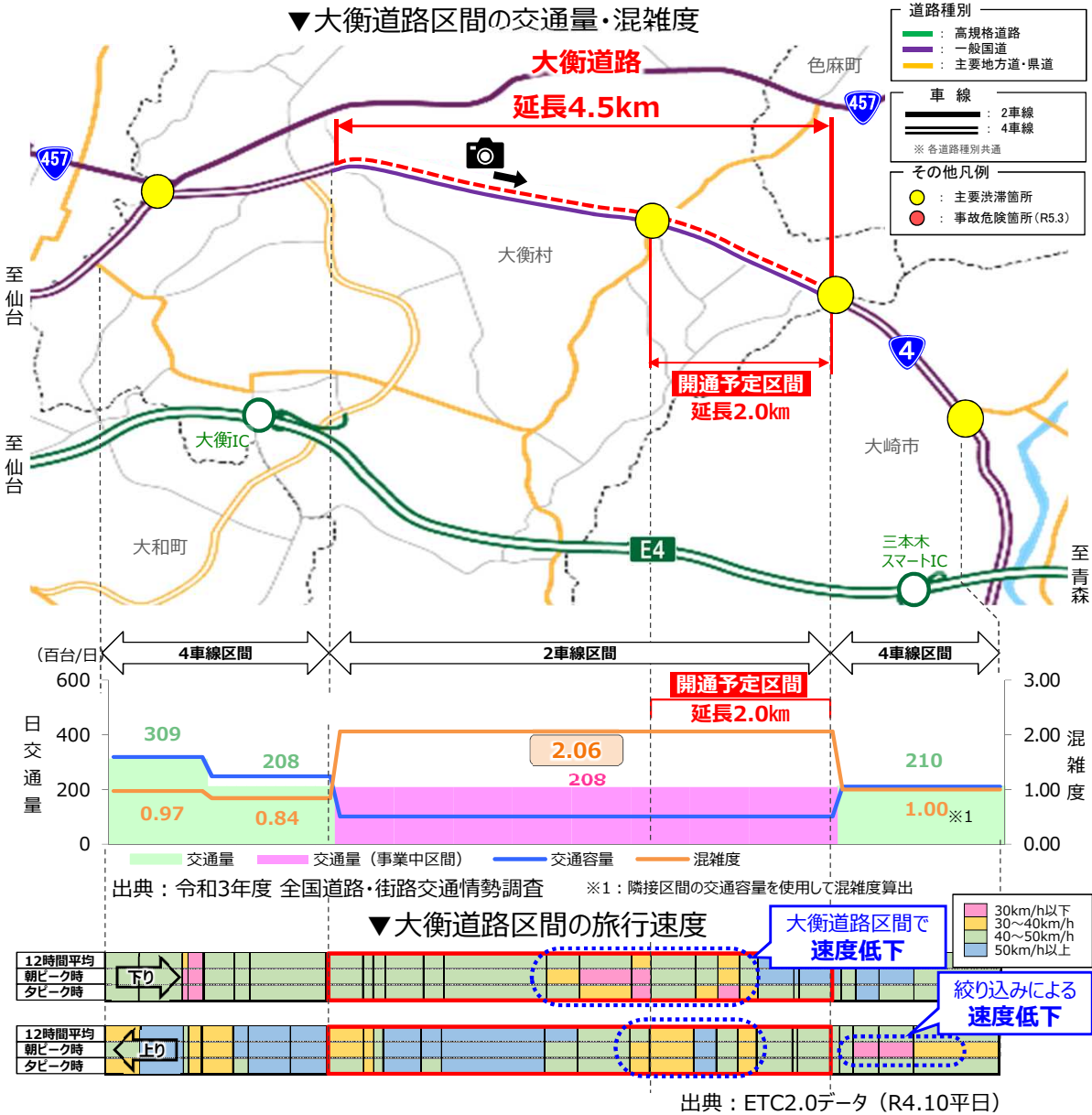
▼大衡における通勤通学の交通手段(R2)



出典：国勢調査

▼大衡道路区間の渋滞状況

▼大衡道路区間の交通量・混雑度



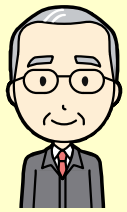
出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査　※1：隣接区間の交通容量を使用して混雑度算出

▼大衡道路区間の旅行速度

出典：ETC2.0データ（R4.10平日）

【沿線企業への通勤者の声】

○**朝夕の通勤時間帯に慢性的に渋滞が発生**しており、混雑を避けて**裏道を利用**して通勤している。
○冬期は国道4号が優先的に除雪が行われるため、**冬期の通勤は国道4号を利用**している。
○整備により、渋滞が緩和されることで**国道4号が走りやすくなること**に期待している。



出典：R5.6 ヒアリング結果